

令和5年度

第2回 八代市社会教育委員会議

日時：令和5年11月7日（火）

9時30分～

場所：八代市公民館 会議室 AB

次 第

1. 開 会

2. 委員長挨拶

3. 議 事

（1）令和6年度八代市社会教育団体補助金予算（案）について

① 八代市地域婦人会連絡協議会

② 八代市子ども会連合会

③ 八代市PTA連絡協議会

（2）第3期八代市教育振興基本計画について

（3）令和6年度予算要求に向けて

4. その他

5. 閉 会

八代市社会教育委員名簿

	役職	氏 名	団 体 等 名
1		はやしこうや 林 浩也	八代校長会小学校部会代表 (八代市立郡築小学校長)
2		まつもと たくや 松本 卓也	八代校長会中学校部会代表 (八代市立東陽中学校長)
3		まつもと けいすけ 松本 啓佑	八代市PTA連絡協議会代表 (会長)
4	副会長	みくりの えみこ 三栗野 恵美子	八代市地域婦人会連絡協議会代表 (会長)
5		たかくら ちさこ 高倉 知佐子	NPO法人八代市スポーツ協会代表 (副会長)
6		てらお けいこ 寺尾 恵子	八代市民生委員児童委員協議会代表 (副会長)
7	副会長	とくだ たけはる 徳田 武治	八代地域代表 (市民活動政策課推薦)
8		やまもと いづほ 山本 衣図穂	坂本地域代表 (坂本支所推薦)
9		すすきだ しんじ 薄田 眞治	千丁地域代表 (千丁支所推薦)
10	会長	いきた ふみあき 生田 文明	鏡地域代表 (鏡支所推薦)
11		いわもと みえこ 岩本 美重子	東陽地域代表 (東陽支所推薦)
12		おしかた てつや 押方 哲也	泉地域代表 (泉支所推薦)

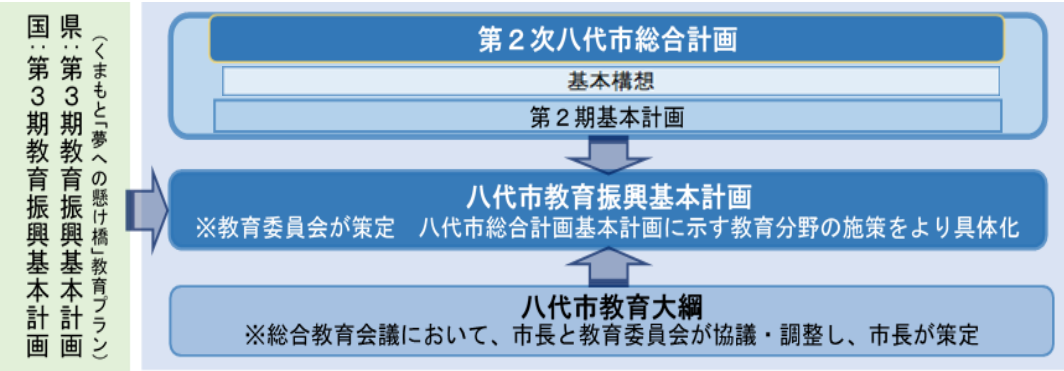
任期: 令和5年8月1日～令和7年7月31日 委員定数16人以内

1 策定の趣旨

国や県の教育振興基本計画の内容を踏まえ、本市の第2期計画における取組を振り返るとともに、本市が目指す教育の姿の実現に向け、八代ならではの特色ある施策の重点的な推進など、今後4年間の施策の方向性を示すために、「第3期八代市教育振興基本計画」（以下「本計画」という。）を策定するものです。

2 計画の位置付け

- 教育基本法第17条第2項に基づき策定するもので、国や県の教育振興基本計画を参考にし、本市の実情に応じた教育の振興のための基本的な計画とします。
- 第2次八代市総合計画第2期基本計画に示す教育分野の施策をより具体化する計画です。
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、市長において策定された「八代市教育大綱」の内容を尊重します。



3 計画の期間

本計画の期間は「第2次八代市総合計画第2期基本計画（令和4年度～令和7年度）」との整合性を図るため、令和4年度から令和7年度までとします。

	2013 H25	2014 H26	2015 H27	2016 H28	2017 H29	2018 H30	2019 R1	2020 R2	2021 R3	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025 R7
教育振興基本計画(国)	第2期計画					第3期計画							
熊本県教育振興基本計画		第2期計画						第3期計画					
八代市総合計画	総合計画後期基本計画					第2次総合計画 第1期基本計画			第2次総合計画 第2期基本計画				
八代市教育振興基本計画	第1期計画					第2期計画			第3期計画				
八代市教育大綱			第1期			第2期			第3期				

4 基本理念

やつしろの 絆でつむぐ 心豊かな人づくり

八代に住む全ての年代の人々の縦のつながり、そして、学校・家庭・地域という横のつながり、さらには、それ以外の立場の人たちとともに、子どもも大人もみんなで糸をつむぐように、互いに関係し合い、刺激し合いながら生涯を通して学習できる、持続可能な地域社会、ふるさと八代を目指します。

5 基本目標

- 基本目標 1** 子どもたち一人一人の「生きる力」を育みます
- 基本目標 4** 生涯を通じて楽しく学べる充実した環境を提供します
- 基本目標 2** 教育環境の整備により学校・幼稚園の教育力を高めます
- 基本目標 5** 郷土の歴史文化遺産に親しめる環境を整えます
- 基本目標 3** 学校・家庭・地域の協働により社会全体の教育力を高めます
- 基本目標 6** 災害からの復興を進め教訓を継承します

6 新型コロナウイルス等の感染症への対応

感染拡大防止と教育活動の両立のための取組を行います。

新しい生活様式の実践

感染予防の取組

デジタル技術を活用した
オンラインの活用等

コロナ禍における教育
活動の円滑な推進

偏見・差別の未然防止
心身のケア

I C Tを活用した学習を
行うための環境整備等



基本理念	基本目標		基本方針	主な施策
やっしろの 絆でつむぐ 心豊かな人づくり	基本目標 1 子どもたち一人一人の「生きる力」を育みます	学校教育においては、次代を担う子どもたちが、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにするために、本市では、一人一人の子どもに応じた、きめ細かな、魅力ある教育を推進し、子どもたちの資質や能力を伸ばし、「生きる力」を育んでいきます。	基本方針 1 幼児教育の充実	①「生きる力」の基礎を育む幼稚園教育の充実 ②幼・保等、小、中連携の充実
			基本方針 2 確かな学力の育成	①「学力向上やつしろプラン」の推進 ②読書活動の推進 ③英語教育の推進 ④キャリア教育の推進
			基本方針 3 豊かな心の育成	①不登校問題に対応した支援の充実 ②「いじめ問題」対応の強化 ③道徳教育・郷土学習の充実 ④人権同和教育の推進 ⑤環境教育の推進
			基本方針 4 健やかな体の育成	①体力の向上と健康の保持増進 ②適正で魅力ある部活動の充実 ③食育の推進
			基本方針 5 特別支援教育の推進	①幼稚園及び小・中学校における特別支援教育の充実 ②八代支援学校における特別支援教育の充実 ③特別支援教育を推進する体制の整備 ④保護者、地域及び関係機関との連携
	基本目標 2 学校環境の整備により学校・幼稚園の教育力を高めます	全ての学校・幼稚園において、安全・安心で、質の高い教育環境を整備することに加え、教職員の資質・指導力向上のため、更に支援することが必要です。本市では、校長・園長のリーダーシップの下、学校力・教師力・連携力を高め、「チームとしての学校づくり」「信頼され開かれた幼稚園づくり」に努めます。そして、義務教育9年間を見通した「八代型小中一貫・連携教育」を推進し、子どもの育ちと学びの連続性の確保を図ります。	基本方針 6 9年間を見通した「八代型小中一貫・連携教育」の推進	①小・中学校教職員による協働体制の整備 ②9年間の育ちと学びをつなぐ指導の充実 ③保護者・地域と一体となった学校応援団づくり
			基本方針 7 教職員の資質・指導力の向上	①教職員の人材育成 ②教育活動の支援 ③教職員の業務効率化の推進
			基本方針 8 学びを支える教育環境の整備	①学校支援職員等の配置 ②学校ICT環境の充実 ③幼稚園・学校規模適正化の推進 ④就園、就学等への支援 ⑤八代市学校・子ども教育応援基金の活用
			基本方針 9 安全・安心な学校づくりの推進	①安全教育・防災教育の推進 ②学校施設非構造部材耐震化等の推進 ③学校・幼稚園施設の整備・充実 ④学校給食施設の再編整備・運営形態の見直し
	基本目標 3 学校・家庭・地域の協働により社会全体の教育力を高めます	幅広い地域住民等の参画により、学校と家庭、地域が連携・協働して、地域社会で未来を担う子どもたちの成長を支え、「地域の子どもは地域で守り育てる」気運を高めるとともに、家庭や地域における教育力の向上を図ります。子どもたちの学習を支援する人材の育成や確保を図ります。	基本方針10 学校・家庭・地域の連携・協働	①地域学校協働活動推進事業の充実 ②コミュニティ・スクールの導入及び充実 ③ボランティア人材の確保
			基本方針11 家庭における教育力の向上	①家庭教育の充実 ②保護者への支援
			基本方針12 地域における教育力の向上	①地域（団体）で子どもを守り育てる活動の推進 ②社会教育団体の育成 ③まなびフェスタやつしろの充実
	基本目標 4 生涯を通じて楽しく学べる充実した環境を提供します	変化し続ける社会の中で、人生100年時代を心豊かに生きがいをもって暮らしていくため、一人一人の意思によって、自分に適した手段・方法を選択し、生涯にわたって学び続けることができる学習環境を提供します。	基本方針13 生涯を通じた学習活動の推進	①生涯学習推進体制の充実 ②時代の変化に応じた多様な生涯学習機会の提供 ③生涯学習情報の提供
			基本方針14 人を育む図書館づくりの推進	①読書活動の推進 ②図書館資料の収集、保存、提供 ③調査・研究、生涯学習や教育・文化活動への支援
			基本方針15 文化の継承と創造に貢献する博物館づくり	①特別展覧会及び常設展示の充実 ②調査研究活動の充実 ③博物館収蔵品の充実と保存・継承 ④博物館収蔵品を活用した教育活動の充実
			基本方針16 社会教育施設の整備	①公民館施設等の整備・充実 ②図書館施設の整備・充実 ③博物館施設の整備・充実
	基本目標 5 郷土の歴史文化遺産に親しめる環境を整えます	郷土の歴史への理解と歴史文化遺産の保存継承の取組が、学校教育や社会教育に有効活用されることで、自分の住む地域への愛着と誇りをもって暮らせるような環境づくりを進めます。	基本方針17 歴史文化遺産の保存継承と活用	①文化財の調査と保護 ②歴史文化遺産に親しめる環境の整備 ③歴史文化遺産を地域で継承する仕組みづくり
	基本目標 6 災害からの復興を進め教訓を継承します	令和2年7月豪雨からの復興を推進するとともに、近年増加傾向にある自然災害に備え、防災教育への理解を深め、災害から得た教訓を次の世代に継承していくための取組を進めていきます。	基本方針18 災害からの復興推進・教訓の継承	①地震に対する取組 ②豪雨災害による被災地への支援と取組 ③その他災害に対する取組

八代市教育振興基本計画に係る事業一覧（生涯学習課関係分）

(令和5年度予算関係分) 事業名	基 本 方 針						
	10	11	12	13	14	16	18
	域 学 の 校 連 ・ 携 家 ・ 庭 協 ・ 働 地	育 家 力 庭 の に 向 お 上 け る 教	育 地 力 域 の に 向 お 上 け る 教	習 生 活 涯 動 を の 通 推 じ 進 た 学	づ 人 く を り 育 の む 推 図 進 書 館	整 社 備 会 教 育 施 設 の	承 推 災 進 害 ・ か 教 ら 訓 の の 復 継 興
青少年センター管理運営事業						●	
二見自然の森管理事業						●	
八竜山自然公園管理運営事業						●	
社会教育センター管理事業						●	
赤星公園管理事業						●	
★人権教育事業				●			
★学校・家庭・地域の連携協力推進事業	●						
★社会教育事業			●				
★青少年体験活動事業			●	●			●
教育文化センター建設基金事業						●	
公民館管理運営事業						●	
★生涯学習推進事業		●	●	●			●
自治公民館整備補助金事業						●	
公民館施設整備事業						●	
★図書館管理運営事業					●	●	

人権教育事業

- 目的 八代市におけるあらゆる差別の解消を図るため、社会教育指導員や専門講師を活用し、人権意識の高揚を図る。また、各種大会、研修会に参加し、資質向上を図る。
人権教育活動の拠点である西宮・上日置集会所で行う解放学習会等を支援するとともに、建物の維持管理を行う。
- 全体計画 各校区での人権教育研修会の実施、各種大会・研修会への参加。
小・中・高生の学習支援、地区内住民の解放学習、解放子ども会事業、地区内同和教育事業、集会所建物維持管理等の実施。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R 1年度： 6,625千円	財源内訳： 県支出金 845千円、一般財源 5,780千円
R 2年度： 7,821千円	財源内訳： 一般財源 7,821千円
R 3年度：13,951千円	財源内訳： 合併特例債 5,800千円、一般財源 8,151千円
R 4年度： 4,165千円	財源内訳： 一般財源 4,165千円

○令和5年度の主な事業内容

- ・ 地区内同和教育事業 10名の講師により地区住民の解放学習の実施
講師謝金 1,500千円（R4：1,500千円、R3：1,500千円、R2：1,500千円、R1：1,600千円）
- ・ 解放子ども会事業 地区内の小・中・高生に対する学習会や体育スポーツ・レクリエーション等の開催
事業委託 219千円（R4：219千円、R3：219千円、R2：219千円、R1：243千円）
- ・ 地区内人権教育事業 地区内における学習計画の立案や解放講座等の開催
事業委託 400千円（R4：450千円、R3：450千円、R2：549千円、R1：609千円）
- ・ 集会所維持管理経費 1,574千円（管理謝礼 190千円、消耗品費 94千円、光熱水費 703千円、施設修繕 33千円、電話料 66千円、消防設備点検 39千円、機械警備・清掃業務 159千円、使用料・賃借料 290千円）
- ・ 工事請負費 6,100千円（空調機等改修工事）
- ・ 人権教育研修 ※部落解放・人権確立第42回全九州研究集会及び部落解放第35回熊本県研究集会（熊本市）、第51回熊本県人権教育研究大会（益城町）、熊本県市町村人権同和教育連絡協議会先進地視察（三重県津市・京都市）
- ・ 地域人権教育指導員 ※当面、設置しないことで確認済

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	人権教育事業 （旧：人権教育事業＋ 地区内同和教育事業）	4,165	10,272	6,107					10,272	地区内人権教育講師謝礼：1,500千円 八代解放子ども会事業委託：219千円 地区内人権同和教育事業委託：400千円 西宮・上日置集会所空調機等改修工事：6,100千円

学校・家庭・地域の連携協力推進事業

○目的

近年、子どもを取り巻く環境が大きく変化しており、家庭や地域の教育力の低下が見受けられる。未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校、家庭及び地域住民等がそれぞれの役割と責任を自覚し、地域社会全体で子どもたちを守り育てる環境づくりを構築する。

○全体計画

- 本事業では、地域学校協働活動（様々な学校協力活動）（放課後子ども教室）（地域未来塾）の教育支援活動を積極的に実施することにより、地域の実情に応じ、地域の力を活かして子どもを健全に育てることで、各事業の円滑な実施を図る。
- ・令和2年4月に八代市地域学校協働本部を設置し、教育部長を本部長とし、学校支援活動を継続的・安定的に活動を実施できるよう横の連携に努める。また、各学校に地域コーディネーターを配置している。
 - ・「地域学校協働活動」事業については、H29年度から第三中学校区にて事業を行っている。R2年度より、15小学校、5中学校、1支援学校で実施。R3年度よりすべての小中特別支援学校にて事業実施。
 - ・「放課後子ども教室」事業については、昭和小、泉小にて事業を展開している。（郡築小はR2年度より、ボランティアの確保ができず中止）
 - ・「地域未来塾」事業については、塾の講師や教員OB等を学習支援員として、塾に通えない子どもたちに学習習慣を身につけさせることや学力向上を狙い実施している。R5年度からは、別室登校者への対応は「様々な学校協力活動」に取扱いを変更。
 - ・地域コーディネーターの人材育成が課題となっているため、県の人づくり講座を活用しながら研修を実施し、地域社会全体で学校運営を行っていくことの必要性について、地域コーディネーター及び教職員等の意識を変えて行く取組を実施している。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R1年度：2,984千円	財源内訳：県支出金 1,936千円、一般財源 1,048千円	R3年度：6,535千円	財源内訳：県支出金 4,334千円、一般財源 2,201千円
R2年度：3,704千円	財源内訳：県支出金 2,429千円、一般財源 1,275千円	R4年度：6,718千円	財源内訳：県支出金 4,488千円、一般財源 2,230千円

○令和5年度の主な予算額

- ・報償費：6,586千円
会議出席時報償費（本部会議・連絡調整会議・CS）：1千円×21時間×39校
学校の働き方改革を踏まえた活動：（1千円×4時間×12月＋853円×65時間）×27校
放課後子ども教室学習指導員：1.2千円×1.5時間×50日＋853円×1.5時間×3人×50日）×2校
地域未来塾：2千円×10時間×12月×10校
講師謝礼：5千円×2時間×1回
地域学校協働活動事業運営消耗品：8千円×39校
- ・消耗品費：312千円

○その他

- ・放課後子ども教室 参加児童数
R1年度実績 郡築小 34人（1年～2年生） 昭和小 25人（1年～3年生） 泉小 13人（1年～2年生）
R2年度実績 郡築小 （中止決定） 昭和小 25人（1年～3年生） 泉小 13人（1年～2年生） 八竜小 2学期20名（1年～2年生）
R3年度実績 昭和小 25人（1年～3年生） 泉小 8人（1年～2年生）
R4年度実績 昭和小 18人（1年～3年生） 泉小 7人（1年～2年生）
- ・地域未来塾参加生徒数【R4年度実績】（延べ人数） 第一中（別室登校）208人・第三中（別室登校）243人・第四中300人・第六中164人
第八中191人・日奈久中81人・二見中315人・千丁中163人・鏡中（別室登校）324人
- ・熊本県人づくり講座の開催 人材育成講座（第1回：69人、第2回：19人）

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	学校・家庭地域の連携 協力推進事業	6,718	6,996	278		4,644		28	2,324	・様々な協力活動：39校 ・放課後子ども教室（小学校）：2校 ・地域未来塾（中学校）：9校

社会教育事業

○社会教育委員会

目 的 教員委員会の諮問機関としての活動や青少年教育に関する指導的な活動等を行い、多様化する社会教育のニーズを施策に反映する。

委員の設置 委員数 委員会議の開催 委員報酬 177千円(5,900円×10人×3回)(12人：うち2人は校長会代表)
九州ブロック社会教育研究大会(宮崎市)、熊本県社会教育委員連絡協議会理事会等への参加
費用弁償:31千円 負担金：16千円(熊本県社会教育研究大会1,200円×13人他)
機関紙「社教情報」等の購読：27千円

○社会教育指導員

目 的 市民の社会教育活動に対する指導及び助言を中心に生涯学習の支援に関する業務を行う。
社会教育指導員給与：4,127,040円(117,300円×2人×12月+109,320円×1人×12月) 期末手当(6月：12月733,579円)
社会教育指導員社会保険料：478,083円(4,995,647円×95.7/1000) 雇用保険77,432円(4,995,647円×15.5/1000)

○社会教育団体

目 的 本市における社会教育の振興を図るため、団体の実施する事業に対し補助及び人的支援を行う。

	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度
市地域婦人会連絡協議会	1,220千円	1,098千円	1,098千円	1,098千円	1,068千円
市子ども会連合会	445千円	265千円	240千円	240千円	240千円
市PTA連絡協議会	571千円	513千円	513千円	513千円	513千円

○二十歳の集い

目 的 民法改正により、二十歳において次代を担う若者達を激励し、祝福するため開催する。
二十歳での実行委員会を組織し、八代市二十歳の集いの企画運営を委託し、実施する。
開催日：令和6年1月7日(日)(予定) 場 所：八代トヨオカ地建アリーナ(八代市総合体育館)(予定)
対象者：平成15年4月2日～平成16年4月1日生
二十歳の集い企画運営委託料：1,000千円 交通誘導警備委託料等：473千円 施設使用料：168千円
熊本県社会教育委員連絡協議会:5千円

○協議会負担金

○その他の社会教育事務経費

パフォーマンスチャージ料、公用車車検代、コピー賃借料 624千円

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	社会教育事業	11,611	11,818	207					11,818	社会教育委員報酬 177千円 社会教育指導員給与 4,861千円 社会教育団体補助金 1,821千円 二十歳の集い開催経費 2,261千円

青少年体験活動事業

○目的 小学生を対象に、各種の生活体験や自然体験等の体験講座を開催し、家庭や学校で経験できない活動を通じ、他校の児童、生徒及び異学年との触れ合いを通して子ども達の健全育成を図る。

○全体計画 豊かな自然の中での野外活動や集団生活を通じて自主性や協調性を育み、地域との交流を深めながら豊かな感性と健全な心身の育成を図る。また、親子で共に体験活動を行い、驚きや感動を共有し親子の絆を深め、市内外各地域を会場として体験プログラム（キッズチャレンジ）を企画し、開催する。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R2年度： 617千円 財源内訳：その他（参加料）383千円、一般財源 234千円
R3年度： 595千円 財源内訳：伝統文化親子教室事業委託金 87千円、その他（参加料）383千円、一般財源 234千円
R4年度： 579千円 財源内訳：その他（参加料）358千円、一般財源 221千円

○令和5年度の主な事業内容（予定含む）

- キッズチャレンジ2023
「アウトドアスクール」
会場：県立豊野少年自然の家 参加対象者：小学4～6年生の児童及び高校生ボランティア 34人
日程：2泊3日（夏休み） 内容：ペーロン体験・流木ストラップづくり・キャンプファイヤー 他
- キッズチャレンジ2023
「子ども陶芸教室」
会場：赤星公園・水竹居の館 参加対象者：小学4～6年生の児童 27人
日程：1日（夏休み） 内容：陶芸体験
- キッズチャレンジ2023
「宿泊体験活動」
会場：坂本青少年センター 参加対象者：小学4～6年生の児童 10人
日程：1泊2日 内容：調理体験・木工体験 他
- キッズチャレンジ2023
「親子体験教室」
会場：東陽 参加対象者：小学1～6年生の児童・保護者 約10組
日程：1日 内容：東陽町フットパスコースのウォーキング・段ボール窯でピザづくり

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	青少年体験活動事業	579	603	24				324	279	講師謝礼・マイクロバス運転業務委託料・施設使用料・賄材料費・消耗品費 等

生涯学習推進事業

○目的 市民が、生涯にわたって、気軽に、誰でもが、芸術文化活動、スポーツ活動、社会参加に通じる学習活動などに参加することができ、その成果を適切に生かすことのできる地域社会の実現を目指す。

○全体計画 市民の教育力の向上を目指し、世代別・地域別等の学習ニーズに応じた「おでかけ公民館講座」をはじめとした体験型学習講座を開設する。
 家庭の教育力の向上を目指し、小中学校や幼稚園、保育園ごとに「家庭教育学級」を開設し、学習支援を行う。
 「まなびフェスタ」を開催し、市内の学習活動を広く市民へ紹介するとともに、舞台発表や作品の展示等を通じた学習成果の発表の場を提供する。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R2年度：2,469千円	財源内訳：その他（受講料）531千円、一般財源 1,938千円
R3年度：2,320千円	財源内訳：国（伝統文化親子教室事業委託金）245千円、その他（受講料）321千円、一般財源 1,754千円
R4年度：2,721千円	財源内訳：（受講料）803千円、一般財源 1,918千円

○令和5年度の主な事業内容

- ・ 家庭教育学級：186千円（講師謝金175千円、講師旅費5千円、消耗品費6千円 他）
 - ①市内保育園、幼稚園、小・中学校単位による学級開設（令和4年度実績：61学級）
 - ②全体研修会（市内全学級を対象とした研修会を開催）
- ・ 公民館講座：1,507千円（講師謝金1,137千円、講師旅費56千円、消耗品費400千円、冷暖房使用料13千円、通信費63千円 他）
 - かんたんスマホ講座、ITキャリアアップ講座、健康講座、ヨガ講座など32講座を開催予定
- ・ まなびフェスタやつしろ：927千円（団体等謝金141千円、講師派遣委託660千円、消耗品費27千円、印刷製本費42千円 他）
 - 講演会、学習クラブ活動発表、食バザー、体験講座、学習作品展示 等

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	生涯学習推進事業	2,721	2,938	217				1,070	1,868	講師謝礼、消耗品費、まなびフェスタやつしろ開催経費

図書館管理運営事業

○目的 生涯学習の中核施設及び地域の情報センターとして、市民の読書活動、学習活動、調査研究活動等を支援し、市民の教育と文化の発展に寄与するため、必要な図書資料等を収集、整理、保存し貸出又は閲覧に供するとともに、読書活動を推進する自主事業等を行い、学習活動や文化活動の機会を提供する。

○全体計画 平成27年度から指定管理者制度を導入し、委託を行っている。令和2年度から再契約し、4年目となる。
20万円を超える修繕等を計画的に行う。

○予算額の推移（当初予算ベース）

R2年度： 142,448千円 財源内訳：その他（使用料他） 642千円、一般財源 141,806千円
R3年度： 140,641千円 財源内訳：その他（使用料他） 842千円、一般財源 139,799千円
R4年度： 142,278千円 財源内訳：その他（使用料他） 830千円、一般財源 141,448千円
※H27年度から指定管理制度導入により、本館・せんちょう分館・かがみ分館を含む運営経費となっている。

○R5年度の主な予算額

- | | | |
|-----------------|------------------|----------------------------|
| ・ 委託料：133,861千円 | 指定管理委託料 | 指定管理委託料 |
| ・ 修繕料：400千円 | 施設設備修繕（リスク分担対応分） | 指定管理期間： R2.4.1～R7.3.31(5年) |
| ・ 報酬：95千円 | 図書館協議会委員報酬 | 委託先：TRCグループ共同企業体 |
| ・ 委託料：2,746千円 | 図書システム保守点検委託 | 委託金額：総額 670,208千円 |
| ・ 使用料：3,756千円 | 図書システム及び機器リース代 | |

○R5年度の主な事業内容

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| ・ 「八代市子ども読書活動推進計画【第三次】」の策定 | (年度内訳) 2年度 134,764千円 |
| ・ 「八代市立図書館運営方針」の改定 | 3年度 133,861千円 |
| ・ 図書館協議会の開催 | 4年度 133,861千円 |
| ・ ブックスタート事業 | 5年度 133,861千円 |
| ・ 電子図書館利用促進 | 6年度 133,861千円 |

※令和2年10月1日より、分館時間短縮：-1,806千円

課名	事業名	R4 予算額	R5 予算額	増減	財源内訳					主な内容
					国	県	市債	その他	一般財源	
生涯学習課	図書館管理運営事業	140,833	142,278	1,445				830	141,448	指定管理委託料 修繕料